



花の万博30周年記念フォーラム

新しい緑のあり方を探る
『グリーンな発想とまちづくり』

2021-R3. 01

日本の公園・緑地政策の変遷と国際園芸博覧会

日本の公園・緑地政策の中で、普及・啓発に向けた行催事は、主要な役割を担ってきた。「大阪花の万博」以降、当博覧会の理念を継承した取組を展開している。

主な政策・法制度

- 都市公園等整備五カ年計画(1972)
- 都市緑地保全法(1973)
- 「緑化協定制度」創設
- 初の緑化に関する制度

普及・啓発、行催事

- 緑の一週間(国土緑化運動)(1947)

■都市緑化対策推進要綱(1976)

- ・緑化推進モデル
- 地区における緑化の推進
- ・緑の相談所の整備
- ・都市緑化月間
- ・都市緑化祭

■当面の都市緑化の推進方策(1983)

- ・(財)都市緑化基金の拡充強化
- ・服部緑地での都市緑化フェア開催

全国都市緑化フェア 全国都市緑化祭

第1回(1983)

■「緑化の推進について-21世紀“緑の文化”形成を目指して-」決定(1984)

1. 都市の緑の3倍増構想の策定とその推進
2. 建設省所管公共施設の緑化
3. 公共緑化の推進方策
4. 民有地の緑化
5. 財源の強化
6. 緑の国際協調 (1)緑の国際フェスティバル (2)海外の日本庭園の再生
7. 緑の顕彰

■「緑の政策大綱(緑サンサン・グリーンプラン)」(1994)

国際花と緑の博覧会 「大阪花の万博」(1990)

「みどりの愛護」のつどい
第1回

※花博の
理念継承

全国都市緑化祭
※都市緑化フェア開催せず

■美しい国づくり政策大綱(2003)

- 低炭素社会づくり行動計画(2008)
- ヒートアイランド対策大綱(2013)
- 地球温暖化対策計画(2016)
- 明日の日本を支える観光ビジョン(2016)
- グリーンインフラ推進戦略(2019)

- ・「緑の基本計画」制度創設(1994)
- ⇒生物多様性に配慮したみどりの基本計画策定(都市緑地法運用指針改正)(2011)
- ・緑化施設整備計画認定制度(2001)
- ・緑化地域制度(2004)
- ・市民緑地認定制度(2017)
- ・ガーデンソーリズム登録制度(2019)

淡路花博(2000) 浜名湖花博(2004)



記念植樹の様子
(第30回)

第30回
(2019)

全国花のまちづくりコンクール

第1回(1991)



第29回
(2019)

第33回全国都市緑化よこはまフェア

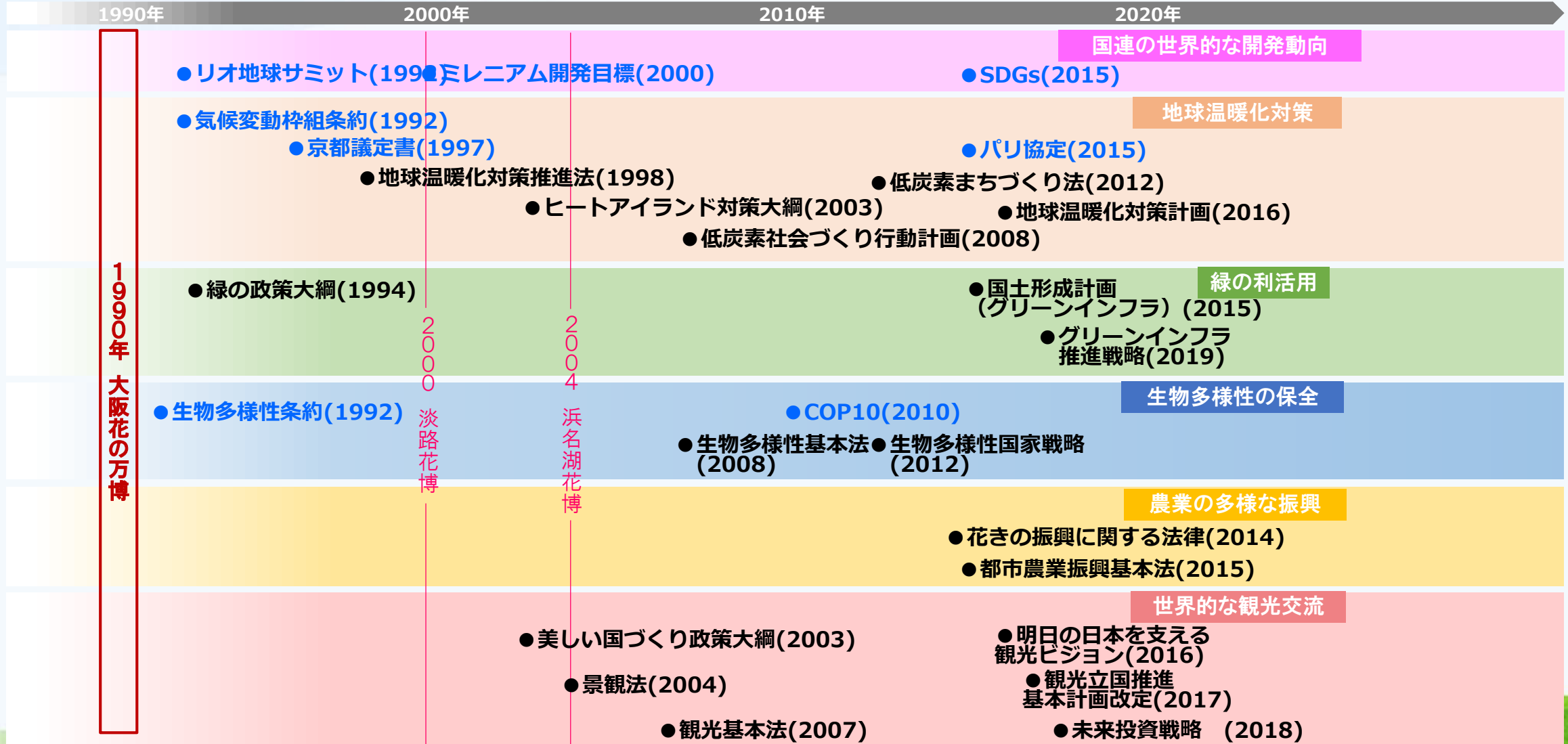
第36回
(2019)



第32回全国都市緑化あいちフェア

花・緑・環境をとりまく国際的な潮流と日本の取組

近年、地球温暖化、緑の利活用、生物多様性の保全、農業の多様な振興、世界的な観光交流に関する多様な取組が展開されている。



国際園芸博覧会の潮流

国際園芸博は、欧州諸国から、アジアや中東諸国での開催に拡大している。当初は園芸産業振興が主眼であったが、現在は園芸産業振興とともに、博覧会を契機としたまちづくりや社会課題への貢献が展開されている。

【1948】AIPH設立

共通ルールのもと展示の品質の保証された万国博覧会を開催するため、31カ国が国際条約に署名し、フランス・パリにおいて設立。

■ 欧州諸国で園芸産業振興を主眼とした開催

1960 フロリアード・ロッテルダム(オランダ)

Floriada【オランダ】

- ・オランダ国内で10年に1回開催
- ・花卉園芸産業の振興、国際見本市的要素が強い

1963 IGA・ハンブルグ(ドイツ)

IGA【ドイツ】

- ・ドイツ国内で10年に1回開催
- ・都市の環境政策やまちづくり・公園緑地整備の促進

1972 フロリアード・アムステルダム(オランダ)

1973 IGA・ハンブルグ(ドイツ)

1982 フロリアード・アムステルダム(オランダ)

1983 IGA・ミュンヘン(ドイツ)

1984 リバプール国際庭園博覧会(英国)

※ 以下、Aクラスの開催実績



■ 欧州圏からアジア、中東諸国での開催に拡大

1990 国際花と緑の博覧会「大阪花の万博」

【テーマ】自然と人間の共生

アジアで初めての国際園芸博覧会として開催。環境問題を推進し、都市緑地の3倍増計画等幅広い戦略の一環として開催

■ 博覧会を契機としたまちづくりや社会課題への貢献に展開

1992 フロリアード・ハーグズタメア(オランダ)

1993 IGA・シュトゥットガルト(ドイツ)

1999 昆明世界園芸博覧会(中国)

2002 フロリアード・ハールレマミア(オランダ)

【テーマ】 21世紀の生活の質におけるオランダ園芸と国際園芸の貢献

2003 IGA・ロストック(ドイツ)

2006 チェンマイ国際園芸博覧会(タイ)

2012 フロリアード・フェンロー(オランダ)

【テーマ】 自然と調和する人生

会場は、持続可能性の原則に沿って開発され、自然地形を最大限に活用し、25haの既存の森林を保護した。会場跡地は、フェンローグリーンパークイノベーションコンプレックスとして、農業・園芸分野の起業家、研究者のためのフィールドとして利用されている。



2016 アンタルヤ国際園芸博覧会(トルコ)

【テーマ】 花と子供達

園芸と農業での経験の共有、緑地の創出と新たな雇用機会を通じた生活の質の向上を目的に開催。会場跡地は、国際協力を促進し、農業問題に対処する知識を共有し、鍵を握る環境問題への認識を高めるための、国際的な技術・トレーニングセンターとしての活用が宣言されている。



2019 北京国際園芸博覧会(中国)

【テーマ】 緑色生活 美麗家園(緑の生活、美しいふるさと)

2021 ドーハ国際園芸博覧会(カタール) → 2023開催へ変更

【テーマ】 緑の砂漠 よりよい環境

砂漠化を食い止める革新的な解決策についての想起、周知を目的として開催。会場は都市の歴史的な中心部に近い公園を活用。

2022 フロリアード・アルメーレ(オランダ)

【テーマ】 成長する緑の都市

緑、食、健康、エネルギーをサブテーマとし、ひらめきと情報を見つけ出す体験を提供。会場跡地は、緑の原則に基づく新たな都市の区画として整備される。



海外における緑とオープンスペースの価値の高まり

○諸外国では、都市の課題解決や、より住みやすく魅力的な都市に向けた計画の中で、緑とオープンスペースが重要な役割を担う動きが各所で進んでいる。

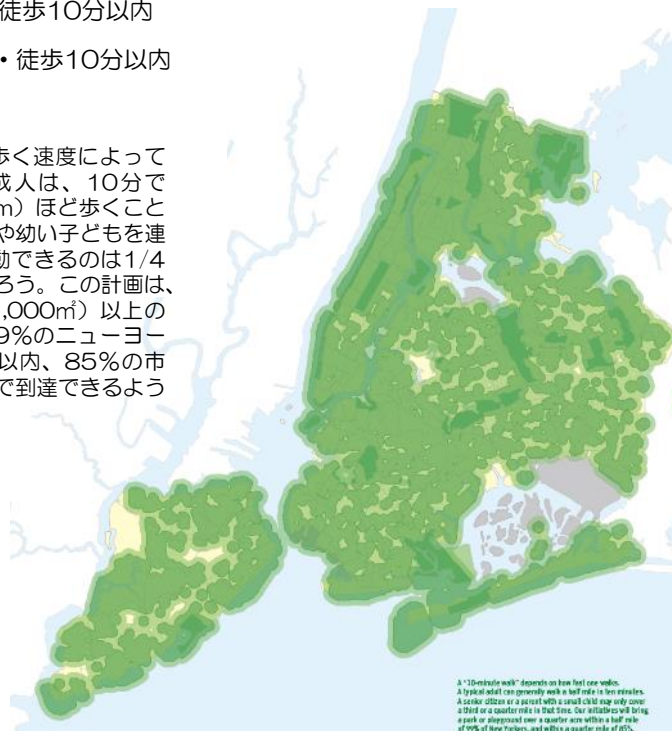
海外事例：プラン・ニューヨーク (アメリカ ニューヨーク市 2007年策定)

- 2030年までに99%以上の住民が徒歩10分（距離0.5マイル）以内に0.25エーカー（約1,000㎡）の公園またはプレイグラウンドに到達できるようにすることを目標とした公園整備を推進

2030年における公園へのアクセス圏域

- 0.5マイル・徒歩10分以内
- 0.25マイル・徒歩10分以内
- 非居住地域

「徒歩10分」は、歩く速度によって変わる。一般的な成人は、10分で0.5マイル（約800m）ほど歩くことができるが、高齢者や幼い子どもを連れた親が10分で移動できるのは1/4～1/3マイル程度だろう。この計画は、0.25エーカー（約1,000㎡）以上の公園や遊び場に、99%のニューヨーク市民が0.5マイル以内、85%の市民が1/4マイル以内で到達できるようにするものである。



(出典) 「Plan New York」 (2007, New York City)

海外事例：公園を核とした都市再整備 (フランス パリ市 クリシー・パティニョル地区)

- 貨物駅の一部を撤去した50haの跡地に、10haの公園を核に民有地の緑化、屋上緑化と合わせて生物多様性の確保、水循環、ヒートアイランド現象の抑止等に配慮した都市再生を



クリシー・パティニョル地区
© Vectuel-Studiosezz-PBA



地区の生態系の核となる公園内の池

(出典) 「The eco-district - a reference in sustainable urban development in Paris (october 2015)」
(Paris Batignolles Aménagement)

グリーンインフラ戦略（イギリス・リバプール市）

- ・市の面積の62%の土地をグリーンインフラ（GI）とみなしており、その対象には、公園などの公共施設だけでなく、私有の個人庭園など私有地も多く含まれている。
- ・GIのタイプ毎に、洪水緩和や健康福祉への貢献など、多様な機能を評価。

取組の背景



- ・GIの貧富の格差
- ・経済や健康の問題

GIの最適化



- ・GIの最適化で経済や健康に貢献
- ・TO MAKE OUR CITY GREAT!!

GIのタイプ分類

Liverpool City GI Typology



GIの主な凡例（カッコ内は全体の面積に占める割合）

私有の個人庭園 (16.1%)	草地・荒地 (4.6%)
海岸の生物生息地 (9.7%)	屋外運動施設 (4.3%)
水路 (6.7%)	公園・公共庭園 (3.8%)
アメニティ空間 (4.8%)	樹林地 (3.4%)

GIの多様な機能



出典： Liverpool Green Infrastructure Strategy

出典： Technical Document

グリーンインフラは新たなステージへ



社会的な共通資本としてのグリーンインフラ [モノ×コト]

自然環境が有する多様な機能を活用しつつ、多様な主体の幅広い連携のもとに行うグリーンインフラの取組を、社会資本整備や土地利用等の検討プロセスにビルトインし、地域の課題の解決と持続可能で魅力的な社会を形成

「持続可能な開発目標
SDG s」の達成に貢献
2015年国連総会採択

貢献する主なSDG s



グリーンインフラは新たなステージへ

グリーンインフラの実装に向けた社会システム化

グリーンインフラを推進するための方策

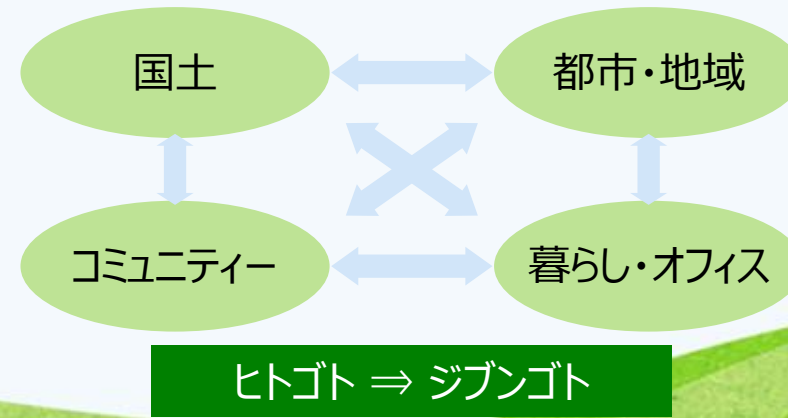
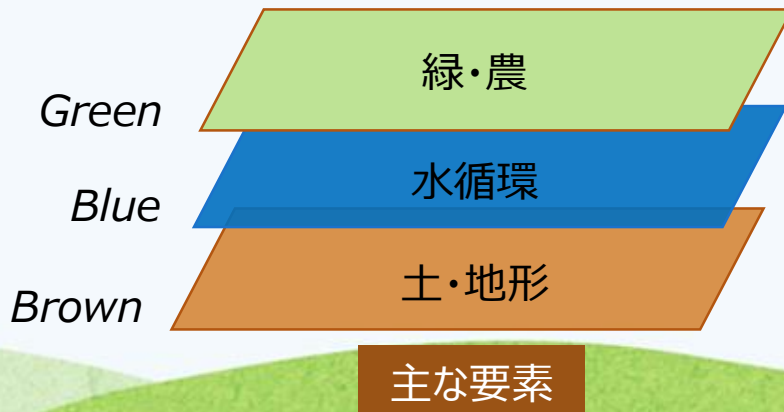
1. グリーンインフラ主流化のための体制整備等
2. グリーンインフラ推進に関する支援の充実
3. 資金（ファイナンス）の確保
4. グリーンインフラに関する評価手法の開発等

貢献する主なSDGs



時間の経過とともにその機能を発揮する（「成長する」又は「育てる」共通基盤・インフラ）

新たなステージで重視すべき観点	主流化を推進する	ストック効果をより高める	多様性を尊重する
-----------------	----------	--------------	----------



海外でのグリーンインフラの取組

ヨーロッパ

- 生態系サービスの維持・形成を主目的に自然環境や半自然環境で形成する戦略的なネットワークの形成を図ることを目的。
- GIを、水質浄化、大気質、レクリエーションと気候変動緩和と適応のための広範な生態系サービスを提供するように設計され、管理されている自然環境や半自然環境の戦略的計画ネットワークとする
- 根拠法令等
 - ・欧州委員会・環境総局により、広範な生態系サービスを維持・形成を推進するためのグリーン・インフラ戦略を策定。

- 欧州での取組事例(自然環境の保全)



良質な生態系保全のための空き地の活用



都市近郊の河川連続した生物の生息地のために重要

米国

- 社会インフラの再整備コストの縮減と長寿命化、及び水質浄化を図ることを目的。
- GIを、管渠・ポンプ・貯水トンネル、汚水・下水排水と組合せて用いられてきたハードインフラの代わり、もしくは付加するものとして土壌や植生を用いることとする
- 根拠法令等
 - ・これを受けグリーンインフラの普及のために取り組むべき戦略(Green Infrastructure Strategic Agenda)を策定。

- グリーンインフラの要素技術の例

<雨庭>



<透水性舗装>



都市開発によるグリーンインフラの推進

- SDGsの概念も踏まえつつ、民間都市開発において屋上緑化、みどりの広場、遊歩道などを整備するとともに、水害対策にも資するよう都市公園を整備し、さらには、周辺の生態系ネットワークにも配慮した取組を実施することで、新たな人材や投資を呼び込む魅力ある都市空間を形成。

二子玉川ライズと二子玉川公園の例

- ・民間都市開発(二子玉川ライズ)において、屋上緑化、みどりの広場、遊歩道の整備により、積極的に自然環境を創出。あわせて、太陽パネルの設置など、グリーンビルディングの取組も。
- ・再開発エリアに隣接し、自治体が公園(二子玉川公園)を整備し、大規模なオープンスペースを確保。地下に雨水貯留施設を設置し、水害に強いまちづくりも推進。
- ・都市開発で新たに創出された自然環境は、隣接する多摩川等の水面や、国分寺崖線等の緑地をつなぐ役割を有し、生物ネットワークの構築に貢献。
- ・プロジェクトの実施に当たっては、民間事業者と自治体が連携。

民間都市開発(二子玉川ライズ)



屋上緑化、みどりの広場、ビオドープ、遊歩道等の整備

再開発エリアと周辺の自然環境の連携



©Futakotamagawa Rise

バイオフィリックデザインによるグリーンインフラの展開

日本企業でもオフィス空間へのバイオフィリックデザインの導入が広がりつつある。離職率の低下、集中できる時間の増加、残業時間の減少などの効果が現れている。



(株)パークコーポレーション



BUSINESS HUB インキュベーションラウンジ



パナソニック(株)



Think Lab((株)ジンズ)

2015
~
2018

国土形成計画(2015)・・・政府文書に「グリーンインフラ」の用語登場
第4次社会資本整備重点計画 (2015)
質の高いインフラ投資の推進のためのG7伊勢志摩原則 (2016)
第5次環境基本計画 (2018)



2019

「グリーンインフラ推進戦略」

国土交通省としてグリーンインフラ推進の具体的方策をとりまとめ

2020

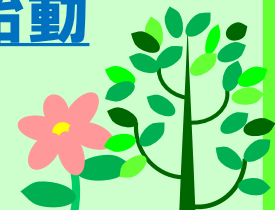
グリーンインフラ官民連携プラットフォーム 本格始動

会員数885者(2020.11.30時点)

部会の設置(企画広報・技術・金融)、シンポジウム開催

グリーンインフラ大賞の募集 等

<https://gi-platform.com/>



あわせて、以下の政府文書にグリーンインフラの推進に関して記載
第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2020改訂版)、
SDGsアクションプラン2020、国土強靱化年次計画2020 等

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」からはじまる都市の再生 ～都市におけるイノベーションの創出と人間中心の豊かな生活の実現～

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」形成のイメージ例

※地域特性に応じた取組を、歩ける範囲のエリアで集中的あるいは段階的に推進
※人口規模の大小等を問わず、その特性に応じた手法で実施可能



居心地が良く歩きたくなるまちなか

Walkable 歩きたくなる

居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出かけたいくなる、歩きたくなる。

Eye level まちに開かれた1階

歩行者目線の1階部分等に店舗やラオバがあり、ガラス張りで中が見えると、人は歩いて楽しくなる。

Diversity 多様な人の多様な用途、使い方

多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。

Open 開かれた空間が心地良い

歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。

【イメージ例】

1階をガラス張りの店舗にリノベーションし、アクティビティを可視化
民間敷地の一部を広場化（宮崎県日南市）



2つの開発の調整により
一体整備された神社と森（東京都中央区）



都市構造の改変等

- **都市構造の改変**（通過交通をまちなか外へ誘導するための外周街路整備等）
- 都市機能や居住機能の**戦略的誘導と地域公共交通ネットワーク**の形成
- **拠点と周辺エリアの有機的連携**
- **データ基盤の整備**（人流・交通流、都市活動等に係るデータプラットフォームの構築等）等



駅前のトランジットモール化と広場創出（兵庫県姫路市）



道路を占用了した夜間オープンカフェ（福岡県北九州市）



公園を芝生や民間カフェ設置で再生（東京都豊島区）

『居心地が良く歩きたくなる』 まちなか × バイオフィリックデザイン

都市で活躍する人材の幸福度、生産性、創造性を高めるため、イノベーション空間となるオフィスや連続する都市空間などにおける**バイオフィリックデザインの導入**



Amazon Spheres(米国・シアトル)
(出典) googlemap



インキュベーションラウンジにバイオフィリックデザインを導入したBUSINESS HUB (千代田区)
(パナ・パナソニック ビジネスサービス(株)が提供する「コモレビス」JHPより提供)



共創、多様性、健康の3つの視点で「生産性向上と新たな価値創造」を目的に、バイオフィリックデザインを本格的に導入した竹中工務店東京本店 (江東区)
(株式会社竹中工務店提供 撮影:小川泰祐)

『「居心地が良く歩きたくなる」まちなかからはじまる都市の再生」中間とりまとめ報告書より引用

〈グリーンインフラを活用したまちづくり・くらしづくり〉

まちなか

オープンスペース×みどり

-グリーンスペース-

公園緑地だけでなく民間広場等のみどりを充実させることにより、快適性の向上、防災性の向上、密集空間の回避等をエリア全体で展開

すまい

コミュニティ×みどり

-グリーンコミュニティ-

公園緑地や農地等のみどりを通じて、ライフスタイルに応じた選択性のあるワークスペースや活動空間を確保し、多様で重層的なすまいかた・くらしかたを創出



陽の光

光を浴びて
元気いっぱい。

New Normal Park Life

新たな日常×公園の魅力



大空

見上げれば
隣町にも
宇宙にもつながる
開放感。

そよ風

吹く風は
心地よい
自然の換気。

木陰

木々の枝葉に
守られ
外でも涼しく。

五感

色や匂いで
季節を感じる。
いきもの、花、木々との
リアルなふれあい。

広がり

天井や壁のない
広々とした空間。
食事もゆったり
気持ちよく。

地域との つながり

リモートワークが
続いても
公園に行けば
誰かに会える。

公園はいつもあなたのそばにある！

新型コロナウイルス感染症の広がりにより外出を控えることが多くなり、健康二次被害が指摘されています。屋外で気持ちよく過ごし、感染症に負けない健康な心と体をつくることも大切です。そんな中、身近な公園が注目されています。歴史的にも、都市に公園をつくる大きな目的は衛生上の必要性とされ、「都市の肺」として

整備が進められてきました。そしていまは全国に1人あたり10㎡のストックがあります。身近な緑のオープンスペースで、リフレッシュしたり、体を動かしたりできるんです。公園では、リモートでは体験できない五感で感じるリアルな体験が待っています。

もっと公園に 出かけましょう



国立成育医療研究センター理事長 五十嵐 隆
子どものこころと体の発達にとって、戸外で遊ぶことはとても重要です。この時期であるからこそ、公園を上手に利用していただきたいと思います。

全国都市公園整備促進協議会 <https://www.posa.or.jp/sokushin/>

お近くの公園の情報は、市区町村のHPなどで探すことができます。さあ、公園に出かけ、利用のルールを守ってもっと楽しい時間を過ごしましょう！

青空の下で エクササイズ

土や草の匂いを感じながら、大きく深呼吸。体を動かして活力を取りもどそう！



歩数計を持って でかけよう

草木や花を眺めながら歩くだけで、心も身体もリフレッシュ。坂道があればハイキング気分も味わえる。



アウトドアで やってみよう

太陽の下、フライングディスク、バトミントン。木陰でトランプ、将棋だって。たまには仕事も外で気持ちよく。遊び方も楽しみ方もあなた次第。



シートひとつで どこでもカフェ

風通しのよい公園で、お気に入りのコーヒーを。



お気に入りの場所で ゆったり

芝生で寝ころんでOK！好きな場所で本を読んだり、音楽を聞いたり、膝を眺めてリラックスタイムをどうぞ。



すぐ行ける 遊園地

ブランコも滑り台もお家のすぐ近くに！小さな公園も子どもにとっては大きな遊園地。



土に触れて 自然を感じる

しゃがんで土いじり。地面を覗くとバッタ、アリの巣、ダンゴムシ。



草花と外遊び

シロツメクサの花飾りや笹舟作り、オオバコ草相撲…草遊びで身近な草を知り、花の香りや季節を感じて、思い出づくり。



新しい生活様式で 公園を楽しむ方法 アイデア 無限大

New
Normal
Park
Life

生きもの探しの 大冒険！

セミの抜け殻、トンボの産卵…公園は、大自然への第一歩。まるで、様々な不思議や発見がある身近なジャングルです。



全国都市公園整備促進協議会 <https://www.posa.or.jp/sokushin/>

お近くの公園の情報は、市区町村のHPなどで探すことができます。さあ、公園に出かけ、利用のルールを守ってもっと楽しい時間を過ごしましょう！



国内外からここでしか見ることができない絶景を見に訪れる [国営ひたち海浜公園]



[ふなばしアンデルセン公園 (船橋市)]

「日本3位」の テーマパーク

「2015年日本の人気テーマパーク」(世界最大級の旅行口コミサイト、トリップアドバイザー公表)で都市公園としては異例の3位を獲得しています

自然とアートの融合

埋立処分場が、イサム・ノグチの設計による自然とアートが融合した美しい公園として生まれ変わり、多くの観光客で賑わう場所となりました



[モエレ沼公園 (札幌市)]

観光

観光振興の拠点となる都市公園

公園は、 観光客を魅了します

四季折々の草花が、国内外から訪れた人々の目を楽しませる

魅力的な施設や遊具が多くの人を惹きつける

地域の歴史資産を活かした公園が、観光客に地域の歴史、文化を伝える

都市公園は、地域の、日本の観光資源として経済を活性化させています



[金沢城公園 (金沢市)]

歴史的文化遺産を 後世へ

明治期に消失した金沢城三御門が、134年ぶりに往事の姿を取り戻した

北陸新幹線の開業も相まって、石川県の観光振興の拠点になっています



© City of Sendai



[定禅寺通緑地（仙台市）]

景観

美しく誇れる国を
子どもたちに残す
ために

公園は、 都市に風格を もたらします

長い時間をかけて都市に溶け込んだ都市公園は、都市の景観の一部となる

歴史的資産と一体となった都市公園は、地域の歴史的な風景を後世に伝える

都市公園は、美しく、誇れる都市を後世に遺し、都市に風格をもたらします

杜の都のシンボル

戦後植えられたケヤキが、60年を経過して杜の都のシンボルに
緑は、長い時間をかけて都市の風格を形成します

都市のオアシス 都市の賑わい

約1.5kmに渡って続く緑の道は、札幌中心街を構成する風景の一部となっている

あるときは市民が憩うオアシスとして、
あるときはまちに賑わいをもたらすイベント会場として、様々な顔を見せます



[大通公園（札幌市）]

市の自慢できるもの No.1

市民の7割が、四季を通じて様々な表情を見せるこの歴史ある公園を「市の自慢できるもの」として挙げています

春の桜とつつじ

夏の新緑

秋のもみじ

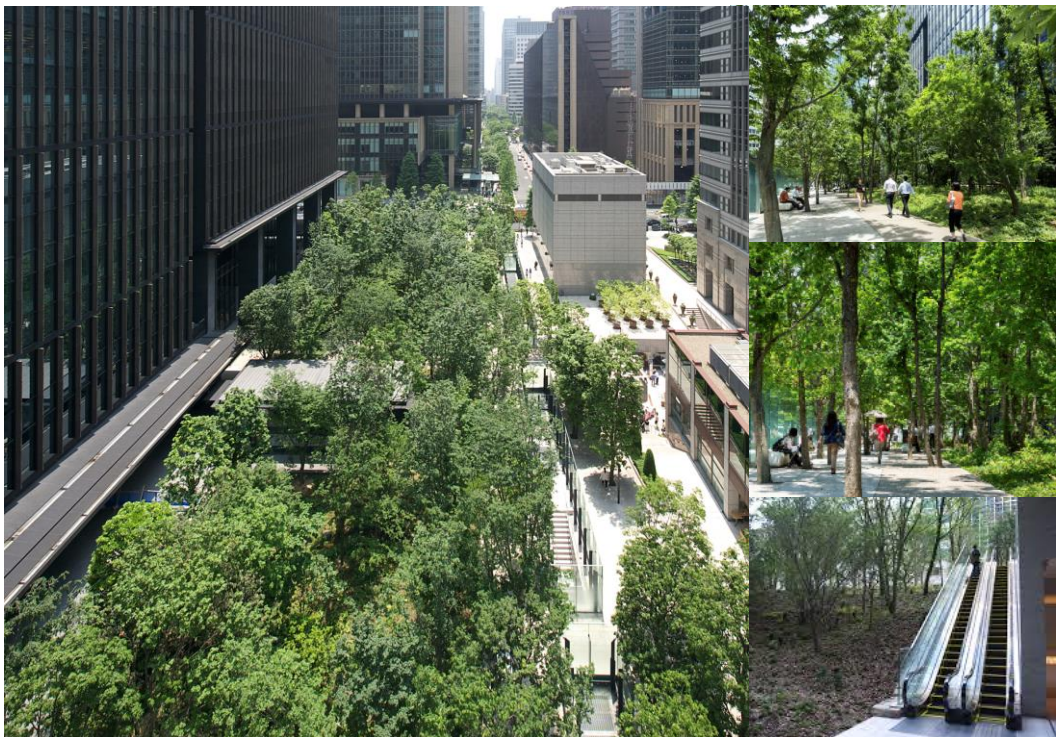
冬の雪景色



春
夏
秋
冬



[西山公園（鯖江市）]



東京都心に創出された自然の森 [大手町の森 (東京都千代田区)]

都心のオフィスビルで 植栽基盤から整備

都市における生物多様性の確保につながります

エコロジカル・ネットワークを形成する緑の拠点となっています



[三井住友海上火災保険 駿河台ビル (東京都千代田区)]

建物の壁面も大事な 緑化スペース

民間の商業施設などで壁面緑化を用いた高質で魅力ある空間づくりが進んでいます



[キャナルシティ博多イーストビル (福岡市)]

民有地緑化

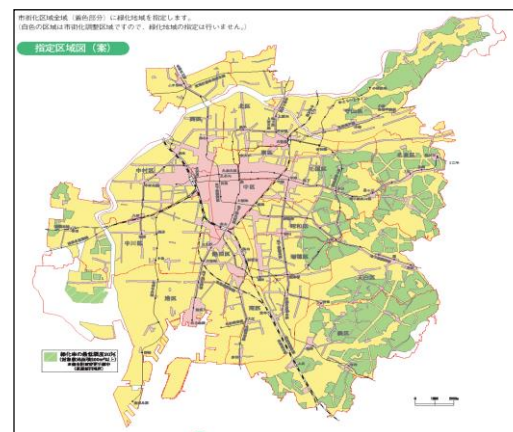
都市における
民有地緑化の推進

民有地の緑化は、 魅力ある都市空間の形成 につながります

地域の実情に応じた民有地の緑化が進んでいます

美しい街並みや都市の風格の形成につながります

ヒートアイランド現象の緩和や潤いと安らぎの空間の創出に大きく寄与しています



[名古屋市]

都市計画による 緑化率規制の導入

建築物の新設等にあたり緑化率の最低限度を定める制度を導入し、民有地における緑化を進めています

ガーデンツーリズムの推進 特色ある庭園を活かした訪れたい地域づくり

ガーデンツーリズム登録制度

- 平成31年4月に、庭園管理者等が組織した協議会がガーデンツーリズム計画を作成し、国に登録する制度を創設
- 令和元年度 8件、令和2年度 2件を登録(令和2年10月現在)



JAPAN GARDEN TOURISM

登録された計画 (令和2年10月時点: 10計画)

<p>北海道ガーデン街道 北海道旭川市、富良野市、帯広市ほか</p>  <p>真鍋庭園 (帯広市)</p>	<p>ガーデンネックレス横浜 神奈川県横浜市</p>  <p>日本大通り (横浜市)</p>	<p>富士・箱根・伊豆 「皇室ゆかりの庭園」ツーリズム 神奈川県箱根町、静岡県沼津市、三島市ほか</p>  <p>沼津御用邸記念公園(沼津市)</p>	<p>にいがた庭園街道 新潟県新潟市、村上市、新発田市ほか</p>  <p>旧齋藤家別邸 (新潟市)</p>	<p>アメイジングガーデン・浜名湖 静岡県浜松市、湖西市、袋井市、掛川市</p>  <p>はままつフラワーパーク (浜松市)</p>
<p>宮崎花旅365 宮崎県宮崎市</p>  <p>フローランテ宮崎 (宮崎市)</p>	<p>いばらきガーデン& オーチャードツーリズム 茨城県水戸市、ひたちなか市、笠間市ほか</p>  <p>偕楽園公園 (水戸市)</p>	<p>湘南邸園文化ツーリズム 神奈川県小田原市、茅ヶ崎市、大磯町ほか</p>  <p>小田原邸園交流館 清閑亭 (小田原市)</p>	<p>雪舟回廊 岡山県総社市、島根県益田市、山口県山口市、広島県三原市ほか</p>  <p>萬福寺庭園 (益田市)</p> <p>※令和2年10月17日新規登録</p>	<p>むさしの・ガーデン紀行 三鷹市、調布市、小金井市ほか</p>  <p>都立野川公園 (三鷹市/調布市/小金井市)</p> <p>※令和2年10月17日新規登録</p>

横浜国際園芸博覧会の基本構想案の枠組みについて（検討中）

幸せを創る明日の風景 Scenery of The Future for Happiess

環境との共生・循環をジブンゴトに、
SDG s がもたらす社会の、その先へ

風景・景観のリデザイン
環境共生・循環へのチャレンジ
つながりがもたらすイノベーション

欧州以外で初の国際園芸博 – 大阪花の万博1990
2019北京国際園芸博覧会（中国）
2022フロリアード・アルメーレ（オランダ）
2023ドーハ国際園芸博覧会（カタール）
2027横浜国際園芸博覧会（日本）
ウィッチ国際園芸博覧会（ポーランド）



開催年：2027年春
開催地：横浜市上瀬谷地区（みなとみらい地区の1.3倍）

（横浜市で検討している基本計画案の主旨）

EXPO'90-大阪花の万博の理念は
緑のまちづくりの種子となり
さまざまな花を咲かせています

